



またも重大事故



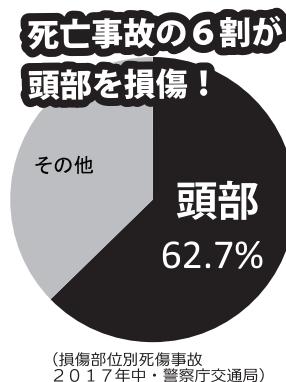
転落事故の根絶を!

自転車に乗るときは
ヘルメットを着用しよう

大阪府堺市
安全啓発ちらしより

加えて、自転車に乗る人
にヘルメットの着用を促進
するよう求めました。

自転車乗用中の死亡事故
の多くは、頭部に致命傷を
負っています。



22日、「学校統廃合、管理主義に負けない私たちの学校を一福山の『小中一貫教育』『生徒指導』の目指すもの」と題する教育講演会が開かれ、党市議団も参加しました。

講師の山本由美・和光大

学教授は、福山市の教育について、「法制化されたばかりの『義務教育学校（小中一貫校）』を導入して大

規模な学校統廃合計画を進めたり、子どもを厳しく管理する『生徒指導規程』の

もと警察連携で多くの中学生の逮捕を招くなど、（悪い意味で）全国に先駆けて

いる」と説明。さらに、「保護者や地域住民の声を無視したトップダウンの手法で

も他に例を見ない厳しい『要件』で機械的に進めようとしており、合意形成に

時間をかけるという発想がない」と批判しました。

福山の教育行政を考える

活動報告

学校統廃合、管理主義に負けない



対策予算の抜本的な増額を

4月13日、駅家町坊寺の市道沿いの水路で、80歳代の男性が自転車ごと転落する事故が起きました。日本共産党市議団は、現地を調査し、19日に緊急申し入れを市長あてに提出。北部支所長らと懇談しました。

福山市では、水路や側溝への転落事故が相次ぎ、亡くなる人も後を絶ちません。

党市議団は、議会論戦や市長要望でくりかえし対策を求めてきました。

市中心部の対策が進み、今年度から市内全域を対象に「道路転落事故防止プログラム」が作られるなど、大きく前進しています。

しかし、課題もあります。同プログラムの第1次整

備計画の転落危険箇所に、今回の事故現場は含まれていませんでした。市は、危険箇所の抽出を地域に依頼していますが、一定の基準を設け、市の責任で漏れがないようにしなければなりません。

死亡事故や重症化を防ぐため、ヘルメットの購入費用を補助する市町が増えています。転落事故が多い福山市だからこそ、他市の先進事例にならい、市民の命を守る対策を進めるべきです。

特に、高齢者は体を支える力が衰える傾向にあり、事故の危険も増します（作業のうち65歳以上が63%）。

今年度の県内の自転車死亡事故のうち65歳以上が63%）。ために、対策予算の抜本的な増額が必要です。

日本共産党
議員団
NEWS

発行

村井あけみ 高木たけし
土屋ともり 河村ひろ子

日本共産党福山市議会議員団
電話・FAX 084-922-2815
広島県福山市霞町3-4 25-401